

2017年6月22日

2017年兵庫県知事選挙 候補者の皆様へ

日本熊森協会（自然保護団体）から緊急アンケートのお願い



奥山保全・復元 一般財団法人 日本熊森協会

本部 〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4

全国21都府県に支部・地区、会員17496人

TEL: 0798-22-4190 会長 森山まり子

当協会は、日本文明を支える水源の森である奥山の自然保護に20年間取り組んでおります。選挙期間中のお忙しい時に、誠に申し訳ございませんが、奥山問題が争点になっていないようなので、以下のアンケートを至急お答えをお願いします。FAX、またはメールでご回答いただければ、当協会のホームページにて公表させていただきます。

回答して下さった方のお名前

中川 ちよる

兵庫県の中部・北部の奥山は、戦後の国策であった拡大造林政策により、スギやヒノキなどの針葉樹の人工林で埋められたままになっています。その結果、山からの湧水が激減しており、大変なことになってきています。また、奥山を生息地としていたクマをはじめとする野生動物たち（国策の第一次被害者）は生きられなくなり、人里に出て来て、地元の人たち（国策の第2次被害者）を困らせ、大量捕殺されています。政治は、この両者を救わねばなりません。

当協会は、①奥山スギ・ヒノキ林を林業用に間伐するだけではなく、自然林へ大幅に転換させて、野生動物たちが山に帰れるようにし、昔のように人と動物の棲み分け共存を復活させること、それによって②次世代の水源を確保すること、③野生動物を大量捕殺するのではなく、被害防除対策に予算を集中させることを願っています。本来の生息地を失っている絶滅危惧種のクマを、スポーツやレジャーとして狩猟対象にすることはやめるべきです。④当協会のような民間自然保護団体が奥山問題に参画できるように、兵庫県立森林動物研究センターが持っている情報を隠へいせず、せめて他府県並に公開することを求めます。回答者のお考えに○をお付けください。

Q1. 奥山スギ・ヒノキ林の自然林化について

- ①、大いに進める ②、どちらともいえない ③、多くの人工林を温存する

Q2. 兵庫県がツキノワグマを狩猟対象としていることについて

- ①、狩猟禁止とする ②、どちらともいえない ③、今後も狩猟対象とする

Q3. 兵庫県立森林動物研究センターの、他府県並情報公開について

- ①、他府県並に公開する ②、どちらともいえない ③、情報を公開する必要はない

コメント

ご協力、誠にありがとうございました。選挙戦のご健闘をお祈り申し上げます！

*アンケート送付先 FAX: 0798-22-4196 MAIL: contact@kumamori.org(6/25まで)